

平成16年度

## 地域共同テクノセンター事業活動報告

### 報告項目

平成16年度活動の結果と点検評価

1. 新たな活動：木更津高専技術振興交流会への協力
  - 1) テクノフォーラム
  - 2) 技術振興交流会分科会
2. 継承した事業活動
  - 1) テクノ交流会事業
  - 2) 技術相談事業
  - 3) 研究・試験事業
  - 4) 研究・技術成果公開・出展に関する事業
  - 5) 生涯学習事業
  - 6) 講演講師派遣事業
  - 7) 広報事業
  - 8) 審議委員等の派遣事業
  - 9) 交流事業
  - 10) その他
3. 実現していない活動等
  - 1) 経費の確保
  - 2) 推進・持続できるシステムの構築
  - 3) 継続的な共催事業

運営委員会の実績

運営委員会委員と事務部担当

木更津工業高等専門学校

地域共同テクノセンター運営委員会

## 平成16年度活動の結果と点検評価

### 1. 新たな活動：木更津高専技術振興交流会への協力

1) テクノフォーラム：今年2回開催された。第一回は学内委員の鈴木聡、高上、東と学外委員の古山、鶴岡が担当し、平成16年8月26日(木)に開催された。第二回は学内委員の鈴木聡、鈴木久夫、東と学外委員の古山、鶴岡が担当し、開催日は平成17年3月7日(月)であった。それぞれ100名程度の参加者で、熱心に受講されていた。

2) 技術振興交流会分科会：委員長会議が2回開催された。第1回は4月22日(木)、第2回は6月8日(火)に行った。また、14の分科会が以下のように延べ53回実施された。なお、分科会委員長は本校教員が担当しており、内容については、各分科会の概要報告書として纏められている。

平成16年度技術振興交流会分科会実施状況

	分科会名 ・キーワード	委員長	実施年月日
1	環境管理技術 ・木炭・活性炭・廃棄物 ・バイオマス・循環型社会 ・生態環境・環境経済評価	委員長 高橋克夫 副委員長 古山哲也	第1回2004年5月13日(木) 第2回2004年8月4日(水) 第3回2005年3月23日(水)
2	医療・福祉機器 ・医療・健康機器・福祉機器 ・カイロプラクティック分野 (重心動揺、短下肢、側彎、骨盤の捻れ、筋力バランス等)	委員長 大藤晃義 副委員長 飯吉裕樹	第1回2004年5月18日(火) 第2回2004年9月28日(火) 特別講演会2005年1月18日(火)
3	教材開発 ・教材開発	委員長 高橋邦夫 副委員長 小川博久	第1回2004年5月17日(月) 第2回2004年7月15日(水) 第3回2004年9月16日(木) 第4回2004年11月18日(木) 第5回2005年2月3日(木)
4	光応用技術 ・光計測・レーザ ・発光ダイオード	委員長 岡本保 副委員長 小林智	第1回2004年5月20日(木) 第2回2004年9月7日(火) 第3回2004年11月26日(金)
5	社会基盤のメンテナンス ・コンクリート構造物の劣化診断 や補修・補強	委員長 黒川章二 副委員長 大曾根友三	第1回2004年5月25日(火) 第2回2005年1月28日(金)
6	ロボット・自動化 ・ロボットの設計や制御技術 ・計測、制御技術 ・FA、工場自動化技術	委員長 鴫田正俊 副委員長 丸昌利	第1回2004年5月19日(水) 第2回2004年7月28日(水)

7	通信・アンテナ ・移動体アンテナ ・ミリ波機器 ・ネットワークアナライザ	委員長 石井孝一 副委員長 鈴木善幸	第1回2004年5月26日(水) 第2回2004年9月15日(水) 第3回2004年12月22日(水) 第4回2005年1月19日(水)
8	画像情報 ・三次元情報計測 ・不可視情報の画像化 ・人工現実感、遠隔制御 ・神経難病等のコミュニケーション支援 ・パターン認識、視覚心理 ・医療画像診断	委員長 栗本育三郎 副委員長 野口義信 斉藤康之	第1回2004年5月24日(月) 第2回2004年10月22日(金) 第3回2004年12月17日(金) 特別講演会2005年1月18日(火)
9	機械・制御系 ・機械要素、材料試験 ・機構設計と制御・振動 ・流れ計測とシミュレーション・エネルギー ・レザ計測とレザ加工・試作	委員長 黒田孝春 副委員長 橋本郁男	第1回2004年5月11日(火) 第2回2004年11月24日(水)
10	電子・電気系 ・電子回路、磁気応用・センサ、 ・コンピュータ・自然言語処理-利用	委員長 大澤寛 副委員長 在原亀次郎	第1回2004年5月27日(水) 第2回2004年9月22日(水) 第3回2004年11月30日(水)
11	情報系 ・コンピュータシミュレーション ・情報通信システム ・計測システムとインターフェース ・ニューラルネットワーク信号処理 ・情報数理の基礎 ・並列プログラミング	委員長 天摩勝洋 副委員長 山下順一 増田重史	第1回2004年5月21日(金) 第2回2004年7月14日(金) 第3回2004年9月15日(水) 第4回2004年11月24日(水) 第5回2005年2月2日(水) 特別講演会2005年3月4日(火)
12	環境・土木系 ・ウォーキングと路面舗装 ・鋼・コンクリート・地盤などの構造系 ・環境空間デザイン・環境材料	委員長 佐藤恒明 副委員長 斉藤喜輝	第1回2004年5月14日(金) 第2回2004年7月9日(金) 第3回2004年11月5日(金)
13	自動車リサイクル技術 ・フロントガラスの除去	委員長 神下護 副委員長 井上光信	第1回2004年5月12日(水) 第2回2004年7月7日(水) 第3回2004年8月19日(木) 第4回2004年10月26日(火) 第5回2005年3月3日(木)
14	異業種融合 ・有機材料・複合材料 ・伝統文化・工芸 ・エネルギー技術 ・資源リサイクル技術 ・水産・農林系基盤技術 ・生活工学	委員長 テクノセンター長 副委員長 渡辺徳 石出忠輝	第1回2004年5月28日(金) 第2回2004年6月24日(木) 第3回2004年7月27日(火) 第4回2004年9月28日(火) 第5回2004年10月26日(火) 第6回2004年11月24日(水) 第7回2004年12月21日(火) 第8回2004年1月17日(火) 第9回2004年2月24日(木) 第10回2004年3月24日(木)

・点検評価：

テクノフォーラムは計画通り、年2回の開催となった。  
分科会は、最低年2回の開催であるが、大半の分科会がはるかに多い開催回数となった。  
これらの交流会への協力活動により、学外に高専の地域連携の積極性をアピールできた。

2. 継承した事業活動

1) テクノ交流会事業

技術振興交流会の設立に伴い、本校主催のテクノ交流会は取り止めることとなった。

・点検評価：

テクノフォーラムにより、従来のテクノ交流会と同様の成果が得られた。  
次年度からは、テクノフォーラムをテクノセンターとの共催の形態にすることが適当である。

2) 技術相談事業

(1) 本校における技術相談： 14件(15年度5件、14年度23件)

(2) 東葛テクノプラザでの技術相談： 0件(15年度2件、14年度4件)

例年通り夏季と春季休業中に2回実施し、相談員数10名(15年度11名、14年度12名)を派遣した。以下に実施一覧を示す。

平成16年度8月期木更津高専技術相談 (東葛テクノプラザ3F技術支援室)

相談日時	担当教員名	専門分野
8月9日(月) 11:00 - 15:00	機械工学科 鈴木 久夫 講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>機素潤滑設計</li> <li>エンジンシステム</li> <li>新エネルギー技術</li> </ul>
8月10日(火) 11:00 - 15:00	電気電子工学科 浅野 洋介 助手	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボティクス</li> <li>自動制御</li> <li>画像処理</li> </ul>
	電子制御工学科 大橋 太郎 助教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測工学</li> <li>制御工学</li> </ul>
8月20日(金) 11:00 - 15:00	基礎学系 大塚 浩史 助教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>非線形微分方程式の解の性質について</li> <li>変分問題について</li> </ul>
8月25日(水) 11:00 - 15:00	情報工学科 増田 重史 教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス情報処理システム</li> </ul>

平成16年度3月期木更津高専技術相談 (東葛テクノプラザ3F技術支援室)

相談日時	担当教員名	専門分野
3月14日(月) 11:00 - 15:00	基礎学系 金子 真隆 助教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>低次元多様体の位相不変量について</li> </ul>
3月22日(火) 11:00 - 15:00	環境都市工学科 鬼塚 信弘 講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>地盤工学</li> <li>地震工学</li> <li>地質工学</li> </ul>

3月23日(水) 11:00 - 15:00	電気電子工学科 石井 孝一 助教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>高周波工学</li> <li>超伝導薄膜</li> <li>リアクティブエッチング加工</li> </ul>
3月23日(木) 11:00 - 15:00	電子制御工学科 岡本 峰基 助教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>制御工学</li> <li>機械力学</li> </ul>
3月25日(金) 11:00 - 15:00	機械工学科 内田 洋彰 助教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械制御システムの制御</li> <li>ロボットシステムの制御</li> <li>機械運動システムの開発</li> </ul>

・点検評価:

全体では相談件数は昨年度より9件増えた。

東葛テクノプラザでの技術相談は年々減少し、今年は0件であった。

東葛テクノプラザでの技術相談を充実できるよう形態を検討する必要がある。

3) 研究・試験事業

共同研究、受託研究、奨学寄付金について、平成13年度からの実績を次の表に示す。共同研究は年々増加し、本年度は6件となった。受託研究は1件で横ばいである。なお、特許申請が1件あった。

(単位 千円)

年度	平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
共同研究	1	3,000	1	2,000	3	5,600	6	9,900
受託研究	0	0	0	0	2	1,250	1	105
奨学寄附金	15	11,700	16	11,563	16	9,180	20	12,930
受託試験	25	169	32	353	68	636	23	152

また、参考として、科学研究費補助金採択状況を以下の表に示す。昨年度より増えて、8件であった。

(単位 千円)

年度	基盤B		基盤C		奨励A		奨励B	若手B		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	件数	金額	件数	金額
平成13年度	1	2,300	1	1,800	5	3,900				7	8,000
平成14年度			4	5,100				2	1,900	6	7,000
平成15年度			3	2,500				4	5,400	7	7,900
平成16年度			3	2,000				5	3,900	8	5,900

・点検評価:

共同研究と奨学寄付金は件数、金額とも大幅に増加しているが、これは分科会の成果が寄与している。

受託研究と受託試験は件数および金額とも減少した。

科学研究費補助金は件数が増えているが、金額は減少した。

4) 研究・技術成果公開・出展に関する事業

(1) 全国高専テクノフォーラム: 出展、7月20日(火)

(2) ものづくり夢フェスタ2004: 研究・技術成果公開、8月1日(日)

(3) 第1回テクノフォーラム: 研究・技術成果公開、8月26日(木)

(4) 第2回テクノフォーラム: 研究・技術成果公開、3月7日(月)

・点検評価：

昨年度より3件増えたが、項目の(2)は今年度限りのイベントである。  
例年実施されている千葉大学オープンリサーチへの積極的な参加が望まれる。

5)生涯学習事業

(1)本校主催講座：公開講座 テーマ数 14件(15年度15件、14年度10件)

以下のような公開講座が開催された。件数は14件であり、ほとんどの講座が複数の教員と学生アシスタントで行われた。

講座名	対象	開催日	受講者数
高専ウェルネス講座 柔道ってどんなもの	小学生	7/11	20
パソコンでネームプレートを作ろう	小学校高学年以上	7/17	10
背骨と健康	中学生以上	7/19	40
パソコン製作入門	中学3年生以上	7/26~27	6
IT講習会	中学生以上	7/27	21
移動ロボット製作教室	中学生	7/27~29	22
高専ウェルネス講座 短距離走の技術・トレーニング教室	中学生	7/31	4
英語スピーチの方法	中学生以上	8/4	2
Linux入門	高校生以上	8/7	3
電気主任技術者第3種のための直前講座	一般社会人	8/7~8	5
持続可能な社会について考える	一般社会人	8/28	10
高専ウェルネス講座 ジュニアバレーボール教室	小学高学年~中1	9月土曜	52
高専ウェルネス講座 スポーツテストで体力診断	65歳未満の社会人	10/10	7
鋳造でメダルを作ろう	小学校高学年以上	11/6	5

(2)受託・協働による高専講座：木更津高専テレワークセミナー(木更津市と協働11月から12月)

テーマ数は14件(15年度16件、14年度8件)であり、アインズビル内のテレワークセンターにて実施された。なお、事前打合せを11月9日(火)に行った。以下にセミナーの一覧を示す。大半が教員一人の講師であったが、数名のアシスタント学生が参加しているセミナーもあった。募集人員193名、応募者数105名、受講者数111名(15年度は募集人員266名、応募者数83名、受講者数67名)であった。

講座名	担当者	対象	開催日時
お絵かきソフトの使い方	小平	小学生	11/13 13:00~14:30
エクセルのプログラム入門	小平	高校生以上	11/13 15:00~16:30
レゴ®(第1回) - コンピュータでレゴ®を動かそう -	鈴木聡	小・中学生	11/14 13:00~16:30
パソコンと電卓で数学を	高遠	高校生以上	11/20 10:30~12:00
電波望遠鏡入門	小平	中学生以上	11/20 13:00~14:30
かんたんコンクリートづくり	青木	小・中学生	11/27 10:30~12:00
エクセルで簡単家計簿	米村・浅野	高校生以上	11/27 13:00~16:30
レゴ®(第2回) - コンピュータでレゴ®を動かそう -	鈴木聡	小・中学生	11/28 13:00~16:30
カイロプラクティックと腰痛	大藤	中学生以上	12/4 10:30~12:00
パソコンでできる糖尿病予防	大枝	高校生以上	12/4 13:00~14:30
電気と磁気のおもしろい力 - クリップモーターの製作 -	浅野・大澤	中学生	12/4 15:00~16:30
パワーポイントでカレンダーを作ろう	東	高校生以上	12/5 10:30~12:00
自然から学ぶ - 風 -	高上	中学生以上	12/5 13:00~14:30
残留地雷の問題	内田	中学生以上	12/5 15:00~16:30

### (3) 展示・実演講座

- ・ロボコンの展示・実演の申し込みがあったが、日程の調整が合わず、実施されなかった。

### (4) 支援講座：出前授業として、以下に示すように10件(15年度6件)の報告があった。ただし、実施した対象は6件であった。

整理番号	日時	場所	学習参加者数	担当者
1	7月13,14日(火,水)	木更津市立太田中学校	中学生116人	栗本 米村、大枝
2	7月2日(金)	木更津市立第1中学校	中学生78名	小川博久・高橋 邦夫
3	7月12日(月)	木更津市立第1中学校	中学生26名	小川博久・黒田孝春
4	7月12日(月)	木更津市立第1中学校	中学生30名	小川博久・大澤他6名 (電気電子工学科)
5	7月12日(月)	木更津市立第1中学校	中学生26名	小川博久・高上輝雄
6	9月11日(土)より 10月23日(土)まで5回	本校ネットワーク情報センター	社会人5名	大澤 寛・中村哲也
7	10月31日(日)	階段教室・化学実験室	小学生41名	田村他5名基礎学系
8	11月13日(土)	木更津市立第三中学校	中学生35人	相川・高橋・田村
9	11月24日(水)	君津市大和田小学校	小学生18人	相川正美
10	12月3日(金)	木更津市立太田中学校	中学生90人	市原・大澤他6名 (電気電子工学科)

#### ・点検評価：

無料の公開講座による経費が大きく、公開講座全体では大幅な赤字であった。独立行政法人化された現在、大幅な赤字が出ないように検討が必要である。

前年度に比べ、開講数は1つ増えただけであるが、テレワークセミナーの受講者が大幅に増加した。これは木更津市の広報以外に、房総ファミリアによる宣伝を行った効果と考えられる。

ロボコンの指導教員を複数に増やし、展示・実演の申し込みに、より柔軟に対応できるようにすることが望まれる。

出前授業の件数は年々増えている。テーマ数を増やし、より多くの教員の参加が期待される。

### 6) 講演講師派遣事業

- (1) 木更津ロータリークラブ卓話講演、高専の地域連携について、小平、9月2日(木)
- (2) 木更津市異業種交流プラザ講演、サブミリ波超伝導高感度受信機の開発、小平、9月9日(木)
- (3) 木更津市異業種交流プラザ講演、おが粉有効利用の可能性について、高橋克、10月14日(木)
- (4) 千葉市異業種交流プラザ講演、技術振興交流会と高専の技術開発について、小平、10月28日(木)
- (5) 木更津市異業種交流プラザ講演、おが粉を利用した新技術の研究事例、鬼塚、11月11日(木)

#### ・点検評価：

講演派遣件数は昨年より3件増えた。

### 7) 広報事業

#### (1) メディア作成

- 2005年事業報告 (2,000部)
- 2005年ガイドブック (1,000部)
- HPの更新(テクノセンターのトップページ)
- テクノニュース第6号 (300部)

(2) マルチメディア発信  
記者クラブ(木更津市役所内)  
房総ファミリア新聞

(3) 公的機関の広報紙発信  
市役所の広報紙  
商工会議所等の会報

・点検評価:

HPの更新を定期的に行い、絶えず最新の情報を発信できる体制を検討する。  
テクノセンターの事業広報は、例年通り房総ファミリア新聞に依頼した。  
テクノフォーラムについては、新千葉新聞、房総時事新聞、房総新聞に掲載された。  
テレワークセミナーについては木更津市広報紙に掲載されたが、他の事業も公的機関の広報紙に掲載できるように検討する。

8) 審議委員等の派遣事業

- (1) 千葉県産業振興センター東葛テクノプラザ: 東葛テクノ会、総会(小平、原) 5月26日(水)
- (2) 木更津市異業種交流プラザ例会: アドバイザとして参加 8月を除く毎月の第二木曜日  
(参加者教員: 小平、五十嵐、高橋克、鬼塚、鈴木久、板垣、相川、佐藤)
- (3) 市原商工会議所産学官交流会議: 鈴木聡、大澤、相川、斎藤、仲川、6月22日(火)
- (4) 千葉県中異業種交流融合協議会: 鈴木聡、大澤、6月22日(火)
- (5) 千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議: 特別会員  
総会、ポートプラザちば、小平、6月29日(火)
- (6) 千葉大学の「産学官連携」を思う将来構想会議: 会員  
千葉大学知的財産本部、小平、小田島校長、8月5日(木)、12月16日(木)
- (7) 千葉県中小企業団体中央会: 特別会員  
中小企業新連携推進県大会: 千葉グリーンタワー、小平、鈴木聡、11月19日(金)
- (8) 木更津市IT推進会議: 委員(鈴木 聡) 10月より3月まで
- (9) 県立上総博物館: 博物館協議会委員(小平) 12月より任期2年間

・点検評価:

地域交流が広く、深くなるに従い派遣先は増加する。

9) 交流事業

- (1) 訪問来校  
千葉県産業振興センターより3名、記事掲載の依頼、4月26日(月)  
千葉県産業振興センターより1名、配信メールコンテンツの依頼、7月9日(金)  
木更津市役所企画調整室の高橋祐美子他2人、市との協働事業の依頼、7月13日(火)
- (2) 地域訪問(年度始め、年末、年始等の挨拶も含める)  
木更津商工会議所、君津商工会議所  
袖ヶ浦商工会、大佐和商工会、馬来田商工会、上総湊商工会、富津商工会  
茂原商工会議所、市原商工会議所  
勝浦市商工会、鴨川市商工会、館山商工会議所  
なお、5月27日(木)に茂原商工会議所の茂原異業種交流会では説明のため出席(小平、鈴木聡、



高橋秀、佐藤恒明、斉藤正)し、懇親会に招待され、交流を深めた。また、前述したように、市原商工会議所とは6月22日(火)に産学官交流会議(鈴木聡、大澤、相川、斎藤、仲川)を開き情報交換を行った。

### (3) 官との交流

木更津市役所

第3回産学官連携推進会議：国立京都国際会館(小平)6月18日(金)-20日(日)

かずさ国際バイオフォーラム2004：アカデミアパーク、(小平、米村)9月30日(木)

木更津商工会議所賀詞交歓会：木更津市民会館(小平)1月6日(木)

### (4) 学との交流

千葉大学産官学フォーラム(5回/年)小平、5月19日(水)

函館高専視察研修、小平、6月22, 23日

全国高専テクノフォーラム：国立高専機構主催(仙台国際センター)小平、鈴木聡  
7月20日(火)、21日(水)

全国テクノフォーラム担当地区打ち合わせ(長岡高専)小平、9月21日、10月20日

千葉大学オープンリサーチ2004、小平、9月23日(木)

ウイスコンシス大学WARFとの意見交換会(都道府県会館)小平、神下、10月1日

NPO千葉興銀経営塾：設立披露、幕張(小平)1月13日(木)

#### ・点検評価：

独立行政法人への最初の年度のこともあり、交流件数が急激に増えた。  
情報の整理と活用法を検討する必要がある。

### 10) その他

(1) 電子顕微鏡委員会が廃止となり、電子顕微鏡室とX線室がテクノセンターの管理課に置かれ、規則を改定した。この両室の管理を電気電子工学科の岡本教員にお願いした。なお、今後、地域へ活用を公開する方向で進めるものとする。

(1) 外部評価のための資料として「地域共同テクノセンターの現状」作成(小平、鈴木聡)を行い、外部評価委員会での説明および報告書作成のための委員への対応(小平)を行った。

(2) 特許申請のため発明委員会が開催され、1件(石田)申請が行われた。

(3) 特許技術セミナー、技術モデル発表者：石井、アドバイザー：神下、参加者12名：有志

(4) 中期計画の年度計画作成(テクノセンター運営委員会で審議し、小平がまとめた)

(5) 国立高専機構に仮報告するため、平成16年度計画実施状況概要報告の資料作成(小平)

(6) 木更津市IT推進会議の要請を受け、木更津市ポータルサイトの構築に協力することとなった。  
このために、鈴木聡、高橋邦両教員が学生のボランティアや学外実習による協力が得られるよう対応を進めている。

#### ・点検評価：

テクノセンター所属の設備を、地域へ公開するための規則の制定が必要となる。

数年ぶりに、特許申請が1件出された。啓蒙のために特許技術セミナーを開き、有志参加の勉強会を行ったが、継続するような体制づくりが必要である。

特許推進のアドバイザーであった神下教授が退官され、啓蒙活動できる後任も居なく、今後どのように対応するか問題である。

独立行政法人に伴い、機構に提出する資料作成のため、事務担当者(庶務課専門職員、庶務課主任)の多大な協力を得たが、まとめるために多くの時間を費やした。

### 3. 実現していない活動等

- 1) 経費の確保：設備更新（X線回折装置） 運営経費の不足（公開講座、派遣補助）
- 2) センター事業を推進・持続できるシステムの構築：地域連携や特許取得のための支援体制、技術支援センターの関係、設備等の地域への公開（テクノセンターラボ、電子顕微鏡室、X線室、実験実習センターの機械工場、ネットワーク情報センター） 規則の整備
- 3) センター事業と外部団体との継続的な共催事業について

#### ・点検評価：

地域公開での成果が期待できるX線回折装置は20年以上経過し、更新が必要となっている。

今年度の公開講座による経費の赤字解消のため、来年度は有料と無料の区別により、それぞれ公開講座とオープンセミナーに再編し、試行することとなった。テーマ募集の結果、教職員の積極性を反映して多くの講座が提案された。この協力姿勢を助長するため、昨年と同様に当面公費による補填が必要である。

地域連携や特許取得に関して、持続可能な支援システムの在り方を検討する必要がある。

テクノフォーラムを本校と共催の形態で実施し、本委員会との融合を促進することが効果的である。

### 運営委員会の実績

第1回	4月 8日(木)	第4回	10月19日(火)
第2回	4月27日(火)	第5回	11月25日(木)
第3回	7月13日(火)	第6回	1月11日(火)
		第7回	3月25日(金)

なお、新旧委員の懇談会：東洋にて5月7日(金)、神下先生の送別会：味香色にて3月25日(金)を実施した。

#### ・点検評価：

本運営委員会において、業務の役割分担を決めて、分業体制で作業を進めたが、不十分な点があった。メール会議や委員全員への情報交換等、IT技術を活用し、時間の節約を図った。

### 運営委員会委員と事務部担当

センター長	小平真次(電気電子工学科)	
副センター長	神下 護(基礎学系)	鈴木 聡(電子制御工学科)
センター委員	五十嵐譲介(人文学系)	高橋邦夫(基礎学系)
	板垣貴善(機械工学科)	大澤 寛(電気電子工学科)
	高上輝雄(電子制御工学科)	東 雄二(情報工学科)
	高橋克夫(環境都市工学科)	五島正己(事務部長)
生涯学習担当	田村和士(基礎学系)	
交流会勧誘員	相川正美(基礎学系)	鈴木久夫(機械工学科)
	石井孝一(電気電子工学科)	
事務部	原 稔継 庶務課長	斉藤 正 庶務課専門職員
	大坪竹雄 庶務係長	仲川 強 庶務主任